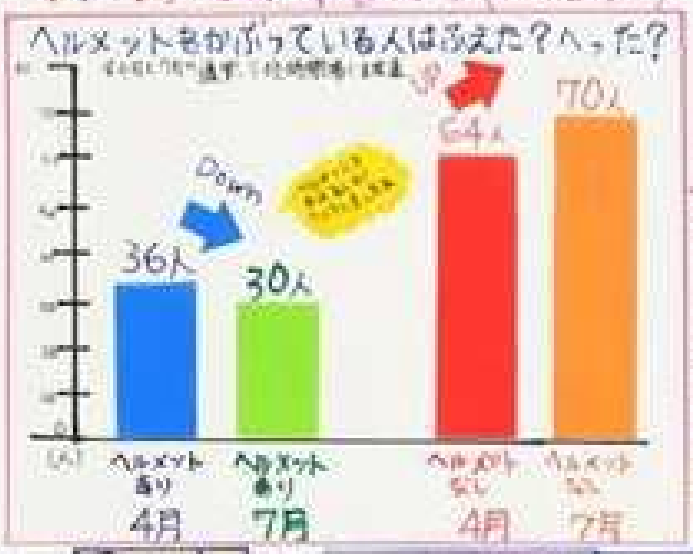
自転車に正しくのれてる？

～新ルールで変わったのか大調査作戦！～

【しらべた動機】2023年4月から、自転車に乗るときのヘルメット着用が努力義務になりました。さらに、2026年4月から「ながらスマホ」や傘を差しての運転」への罰則がきびしくなるなど自転車の新しいルールがスタートしました。ニュースでも自転車ルールについてたくさん取りだたされました。そこでぼくは「ヘルメットをかぶる人は増えたのか？」と気になりこのように変わったのかを調べてみました。

4月と7月のヘルメット着用率（100人調べ）



新しいルールが始まった「4月」と3か月たった「7月」で、みんなのヘルメット着用率がどのように変わったのかを実際に調べました。

新しいルールが始まった4月では、ヘルメットの着用率は増えていましたが、3か月たつと、さらに30人にへってしまったことにおどろきました。そこで「どうしてみんなはヘルメットをかぶらないのだろう？」とその理由を知りたくなり、公園などにてきやアンケートをとって答えてもらいました。



ぼくが7月に調べたヘルメット着用率は30%でした。警視庁が6月に調べた全国平均のわりあいは19.8%だったので、ぼくの調べた結果は全国平均よりとてもよいわりあいでした。

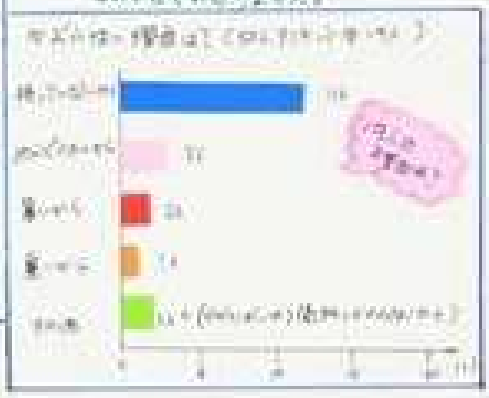
アンケート

Q あなたは自転車にのるときヘルメットをかぶりますか？

- いつもかぶる 25人
- ときどきかぶる 6人
- かぶらない 19人







【アンケートからわかったこと】

雨ではヘルメットをかぶっている人が多かったために、アンケートでは「かぶる」「ときどきかぶる」をあわせると半分が答えてくれました。これは普段から利用者が多かったからです。学校のルールが安全をきちんとまもっていることにつながりました。

～しらべた結果～

自転車の多いところでは「信号無視」や「右側通行」などの危険な運転が目立ちました。特に、自転車に乗っている人だけでなく、歩いている人にも注意が必要だと感じました。

自転車の危険運転ベスト5

1位 右側走行 9人
2位 並び運転 3人
3位 ながらスマホ 3人
4位 スマホをみながら 2人
5位 信号無視 2人

まとめ

今回の調査で、自転車に乗るときにヘルメットをかぶる人が増えていることがわかりました。ヘルメットをかぶることは安全のためにとても大切です。しかしアンケートでは、安全のためのルールをいやがっている人がいることもわかりました。

今後の課題は、自転車に乗っている人だけでなく、歩いている人にも交通ルールを知ってもらうことです。自転車と歩行者が安全にすごすためには、「自分の命は自分で守る」という意識をもつことが大切だと思います。

自転車のルール、知っていますか？
警視庁のホームページには、自転車のルールや安全な乗り方がわかりやすくまとめられています。
ぜひ一度見てみてください。